

[現在、富士山静岡空港では、大規模盛土工事を伴う滑走路端安全区域の拡張工事(=RESA工事)を行っています。]  
[この回覧板は、RESA工事に関するお知らせを定期的に情報提供するための回覧板兼広報紙です。]

**Topic** 苗木を育てています。

富士山静岡空港は自然環境と調和のとれた緑の空港として計画され、空港建設時には様々な環境保全対策に取り組んできました。

RESA 工事においても環境保全対策として、新たにできる盛土法面には、空港周辺で採取した種から育てた苗木約 6,000 本を植栽します。

また、RESA 工事に伴い伐採した樹木はチップ化し、地面の温度調節や雑草が生えるのを防ぐ「マルチング材」として活用します。

クヌギやコナラ、ヤマザクラ等の3月に蒔いた種は順調に生育し、約3か月で5~30cmほどの大きさに育っています。

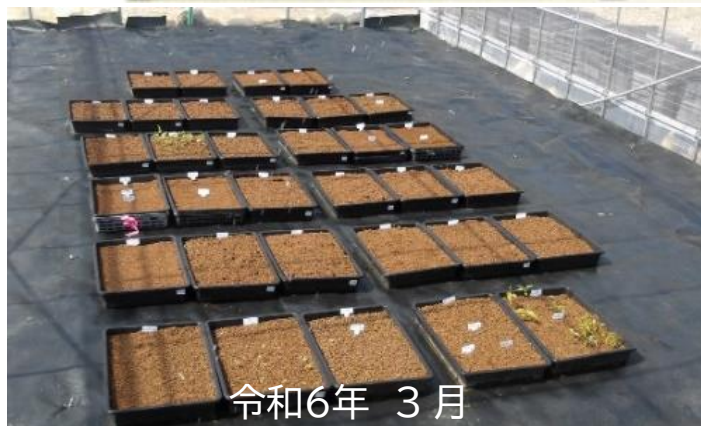
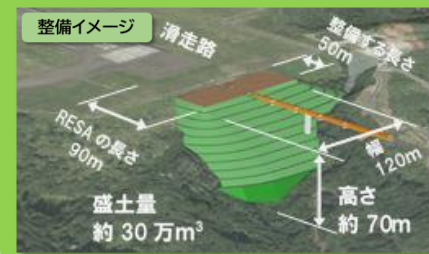
[盛土の植栽復元イメージ]



滑走路端安全区域 (RESA) とは

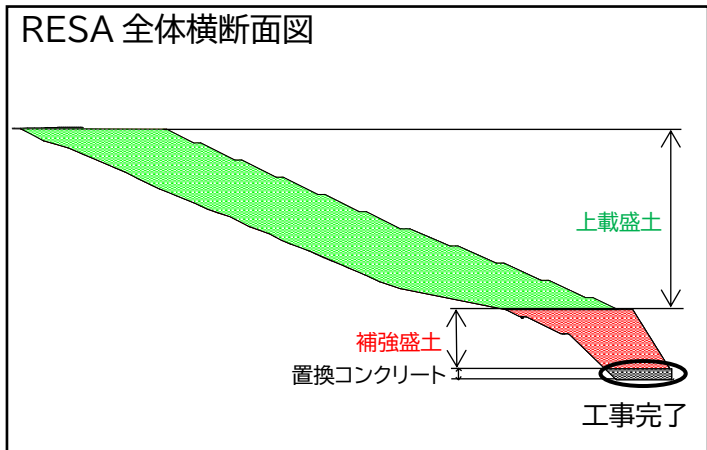
RESAは、滑走路端安全区域(Runway End Safety Area)の略称で、航空機が離着陸するときに滑走路を超えて走行し停止してしまう「オーバーラン」等を起こした際に航空機の損傷を軽減させるため滑走路の両端に設けられる区域のことをいいます。

富士山静岡空港では空港東側のRESAが新たな国際基準に適合するように拡張工事を行っています。



**RESA 工事進捗状況**

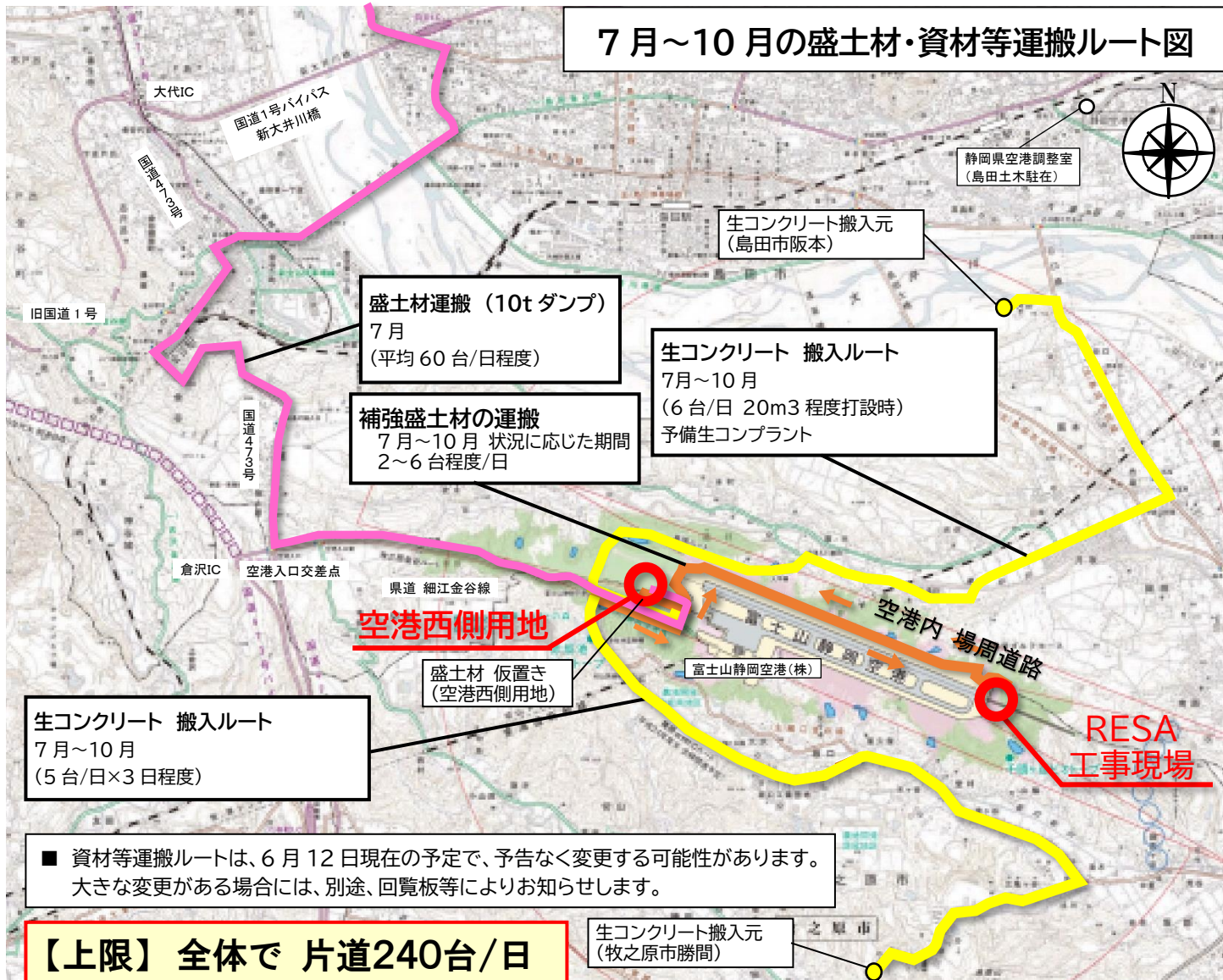
令和6年5月までに、盛土基礎部の置換コンクリート工が完了しました。6月から補強盛土の盛土工事に着手します。現場及び運搬ルート付近の皆様には、御迷惑をおかけしますが、御理解と御協力をお願い致します。





7月から10月の資材等運搬ルートは下図のとおり予定しています。  
土砂・資材等運搬車両には、「空港マーク」を付け、騒音、振動、粉じん、迷惑運転等には細心の注意を払い、安全運転に心がけています。運搬のことについてお気づきの点がありましたら静岡県空港調整室(0547-37-7316)または前田建設工業(株)(0548-28-6222)まで御一報くださいますようお願いいたします。

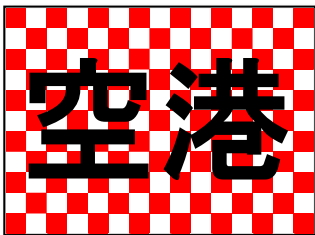
7月～10月の盛土材・資材等運搬ルート図



■ 資材等運搬ルートは、6月12日現在の予定で、予告なく変更する可能性があります。大きな変更がある場合には、別途、回覧板等によりお知らせします。

**【上限】 全体で 片道240台/日 (往復480台/日)**

空港の資材等運搬車両(ダンプ等大型車両)は車両の前後に下のチェックのワッペンと工事業者の表示板を掲示しています。



ワッペン(A3版)

【空港】RESA補強盛土工  
前田建設工業(株)  
金森 仁嗣  
TEL 0548-28-6222  
表示板(A3版)

生コンクリート搬入元 (牧之原市勝間)

通行台数 (ダンプ等大型車両) 凡例		未確定
台数	通行経路	
150台/日以上 (往復300台/日以上)		
~150台/日 (~往復300台/日)		
~100台/日 (~往復200台/日)		
~50台/日 (~往復100台/日)		
1~20台/日 (往復2~40台/日)		

※台数は、片道の日当たり延べ台数 (例 5台×5回/日=25台/日)  
※往復は、台数×2(積み荷+空積)(例 25台/日→往復50台/日)